

～香りの植物見学記(17)～

ジャスミンの香りを求め、 新宿御苑を訪ねました



2種類のジャスミンを体験します

ジャスミンにはいろんな種類がありますが、精油に使われる品種は7～9月に花が咲きます。そこで、アロマセラピーで主要な2種類を見に行ってきました。うかがったのは、新宿御苑。両方のジャスミンが展示されています。

1つは、花びらが五枚のソケイ

新宿門から入園し温室に向かう小道に、ソケイが植えられています。ソケイは、ジャスミンの和名。一般にジャスミンの精油といえば、この花から採られます。

意外なことに、糞便臭の成分が微量に含まれ、この素晴らしい香りに深みを与えています。



温室のジャスミンも見事です

ソケイを通り過ぎると、温室が見えてきます。温室のなかには滝があり、その周りにもジャスミンが咲いていました。ただ、香りを体験するのなら、屋外のジャスミン(↑)がおすすめ。どちらも品種は一緒ですが、温室では花に近寄ることができません。

もう一つは、八重咲のジャスミン・サンバック

温室入口のアーチにツルを伸ばすのは、マツリカ。ジャスミン茶でおなじみの品種で、精油ではジャスミン・サンバックという名で流通しています。

甘さとさわやかさを持ち合わせる香りには、心を落ち着ける効果があります。



林泉のジャスミンもご期待ください

我が家にも、ジャスミンの鉢があります。今はまだ小さいですが、数年すればおもての柵を覆い、甘い香りと可憐な花を楽しませてくれるでしょう。

サロンには、ご紹介した2種類のジャスミン精油を用意しております。ご予約の際ぜひお試しください。

マスク着用をお願い

新型コロナウイルス感染予防のため、店内ではマスクをお付けくださいますようお願い致します。

施術者も、ご来店からお帰りまでマスクを着用致します。

ご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

おすすめアロマグッズ No.107



ジャスミンアールグレイ・ティーバッグ (トワイニング)

アールグレイに、ジャスミンの香りをプラスした紅茶です。どちらの香りも個性的なのに、よく調和しています。

お湯を注ぐと、まずジャスミンが香り、後からゆっくりアールグレイが立ちあがってきました。リラックスしたいとき、この時間差が、嗅覚を心地よく刺激してくれます。

編集後記

ジャスミンの精油は、採油率が低いせいで、とても高価です。今号でご紹介の2種も、1瓶1万円ほどします。わたしが通ったアロマの学校の先生は、「仕事でなければ買わない」と冗談交じりにおっしゃっていました。

ところが、その原料の植物は案外気軽に楽しめます。記事にも書いた通り、新宿御苑では、屋外に植えられ柵もありません。我が家の苗は500円で入手しました。